

令和4年 第1回弟子屈町定例教育委員会会議録

- 1 日時：令和4年1月25日（火）午前10時00分から午前10時45分まで
- 2 会場：弟子屈町公民館 講堂
- 3 出席委員
岩原教育長、金井教育長職務代理者、菅原委員、吉田委員、宮田委員
出席事務局
廣田管理課長、山口管理課長補佐、辻川指導室長、藤森社会教育課長、渋田社会教育課長補佐、山本給食センター所長
欠席事務局
小見山図書館副館長
- 4 会議録署名委員：金井教育長職務代理者
前回署名：宮田委員
- 5 傍聴人 なし

議事日程

令和 4年 1月25日

日 程	議案番号	議 件
1		会議録署名委員の指名について
2		会期の決定について
3		教育長行政報告について
4	報告第1号	全国体力・運動能力、運動習慣等調査の報告について

会議内容

【開 会】

廣田課長 : ただ今より、令和4年第1回定例教育委員会を、開会いたします。開会にあたり、岩原教育長より、ごあいさつ申し上げます。

岩原教育長 : 令和4年1月の第1回目ということで、今年も、よろしくお願ひ申し上げます。また、本日は、お忙しいところ、ご出席いただき、ありがとうございます。

ご承知のように、コロナについては、年明け以降、オミクロン株の影響で町内でも感染者が出ており、昨日も1名感染したということで、家族などで濃厚接触者の調査が進められていくようです。きょうだいは小・中学校にいないようですので、影響はないものと考えております。

新聞によると、釧路市内でも、半数ほどの小・中学校で感染が確認されているようで、標茶町・厚岸町・釧路町でも児童生徒の感染が確認されて、臨時休校あるいは学級閉鎖等の措置が取られているとのことでもあります。

27日からまん延防止等の重点措置が取られますが、この間道教委からの通知を受け、町内でも発生していることから、今後町内での発生を見込んで想定し、対応していきたいと思ひます。

今日は、午後から臨時校長会議を開催し、その辺りのことを確認していきまひす。感染者を止めることはできないかもしれまひせんが、感染を拡大させないような取り組みを、改めて確認していく予定でひす。

それでは、只今から、令和4年第1回定例教育委員会を、開会いたします。

岩原教育長 : 日程1、会議録署名委員の指名につきましては、金井教育長職務代理者に、お願ひしたいと思ひます。

前回の定例委員会での会議録の承認につきましては、宮田委員に、お願ひをしております。

それぞれ、よろしいでしょうか？

各委員 : はい。

岩原教育長 : それでは、そのように、取り計らいたいと思ひます。

岩原教育長 : 日程2、会期の決定ですが、会期につきましては、本日1日限りと、致したいと思ひますが、これに、ご異議ございませんか？

各委員 : ありません。

岩原教育長 : 異議なしということで、会期は、本日1日限りと、致しませひす。

岩原教育長 : 日程3、教育長行政報告につきましては、私の方から、説明致しませひすので、お手元の資料を、見て頂きたいと思ひます。

【行政報告件名】

12月22日 令和4年度教職員管理職人事に係る協議

釧路管内市町村教育長会議・働き方改革推進会議

- 12月24日 小・中学校2学期終業
12月26日 クルーズトレイン弟子屈コンサート
12月27日 町営スケートリンクオープン
12月28日 「王鵬を弟子屈町から応援する会」役員会
12月29日 第4回第6次総合計画策定委員会
1月3日 関東大学対抗箱根駅伝 東京国際大学総合5位（町内合宿大学）
1月8日～9日 スケート教室
1月9日 第1回弟子屈町二十歳のつどい
1月12日 町内でコロナ陽性者2名発生
第1回臨時町議会
1月13日 生きがい講座川湯学級「新年交流会」
1月14日 町内でコロナ陽性者4名発生
オンラインによる姉妹都市中学生交流
1月15日 公民館講座「キムンカムイヒグマについて知ろう」
町内でコロナ陽性者3名発生
1月17日 小・中学校3学期始業
1月18日 第10回連携校長会議
1月19日 令和4年度教職員一般職人事に係る協議
1月20日 臨時釧路管内市町村教育長会議
1月21日 表敬訪問（弟子屈中学校スケート部）
1月24日 新型コロナウイルス感染症対策本部会議
1月25日 臨時校長会議

【質疑応答】

岩原教育長：以上であります。何かご意見やご質疑があれば、お聞かせ願いたいと思います。

各委員：ありません。

岩原教育長：なければ、後でもよろしいですから、次に進めさせていただきます。

岩原教育長：日程4 報告第1号「全国体力・運動能力、運動習慣等調査の報告について」を、議題といたします。

それでは、事務局より、説明願います。

辻川室長：ただいま、上程のありました報告第1号につきまして、ご説明させていただきます。

お手元に資料を配付しております。

コロナの関係で、2年ぶりにこの調査が実施されました。実技の方は、町内の学校は1学期に全学年で新体力テストを実施しております。この調査は、全国的には、小学校5年生と中学校2年生を対象としておりますので、この資料の結果も、小学校5年生と中学校2年生の結果のみで作っております。

それでは、1ページ目をご覧ください。

小学校5年生の結果であります。実技の結果で、8種目について、1種目10点満点、計80点満点で点数化しております。左上の表は体力の合計点の平均

点です。男子は、全国・全道を上回っております。女子は、残念ながら若干下回っております。55点というのはピンときませんが、100点満点に換算すると65～70%の間くらいとなると思います。

過去の経年評価の折れ線グラフが隣にあります。昨年に行われておりませんので、平成30年・令和元年・令和3年と、体力の合計点の全国との差を表しております。男子の方は改善傾向にあります。女子は5年ぶりに全国を下回っております。母数も20人ほどと少ないこともありますので、下回ってもそれほどではないかと思えます。

種目ごとの詳しい結果が、レーダーチャートに書かれております。男子の方は、全ての項目で全道を上回っており、多くの項目で全国を上回っておりますが、特に、握力・立ち幅跳び・反復横跳びが大きく上回っております。対して女子の方は、50メートル走・長座体前屈の2種目が全道・全国を大きく下回っており、それが今回の5年ぶりに下回った結果になっているかと推測されます。この体力合計点では、5つの層ABCDEに区切って、評価しておりますが、帯グラフでは左側から青のA層が80%以上の得点、次のオレンジ色が75%程度、真ん中が67%程度で、そして右に行くほど下位層となりますが、次が55%程度、最後が50%以下となります。

これも全国の比と、前回の令和元年度の比と対比するように作っております。一番上の今年度の小5男子は、非常に上位層が多く、下位層が少ないようになっています。左のABを上位層、右のDEを下位層としておりますが、上位層が厚く、下位層が少ないのが、小5男子の特徴です。女子も実は上位層が非常に厚く、全国と比べてもかなり厚いのですが、対して右のE層、一番苦手としている子が多く、これも令和元年度との比較だけを見ていると、ここが非常に顕著になっています。コロナの関係で運動する機会が減っているのか、そこまで調査はしてませんが、そのように推測されます。全体的に小5の男子は、例年通り良い結果で、小5の女子も上位層が多いので、実技得点は高いのですが、やはり5人に1人が苦手な層だということが、今後の課題になると思えます。

2ページ目は、小学5年生の質問紙です。児童質問紙と学校質問紙がありますが、そこから抜粋しております。全てを見ると時間がかかりますので、特徴的なところだけ、申し上げます。「運動やスポーツをすることが好き」というのは、男女とも全道・全国を上回っており、非常に良い傾向です。しかし、男子で「体育の授業は楽しい」というのが、下回っております。運動・スポーツは好きなのですが、このギャップは何なのか、明日学校に説明する機会がありますので、聞いてみたいと思えます。「体力テストや体力・運動能力向上の目標を立てているか」について、男子は全国並みですが、女子は目標を設定している意識が低いようで、こちらも学校に伝えて授業改善に努めていきたいと思えます。

分析の結果は2ページの下にあるとおりで、今までの説明の内容を文字としておりますので、後ほど読んでいただければと思えます。一番下が今後の体力向上策ですが、こちらも小・中学校とも4点項目で、運動する機会をコロナの感染

を踏まえながら作っていきたいと思います。

3ページ目は、このテストが始まってからの各実技の種目・体力の合計点を、経年で集めております。青色は全国よりも上、緑色は全国を下回っても全道よりも上、黄色は、T得点という数値がありますが、それを大きく下回っているところですが。そう考えますと、男女とも小5については、実技はずっと良い結果が出ており、久しぶりに女子が下回ったという結果でした。

また4ページも、質問紙の方を経年で追っております。赤い色は全国よりも5ポイント以上低く、黄色は全国よりも5ポイント以内ですが下回っている所、白い所が上回っている所です。後ほどご覧ください。

5ページ目からは、中学校2年生の結果です。実技の体力合計点で、男子が36.47点で、中学校男子はずっと低い結果になっています。小5のときは全国を上回っているのですが、中学生になると体力が落ちております。女子も例年全国をやや下回っております。過去3年間の折れ線グラフは、令和元年度で、ちょっと持ち返したのですが、コロナの影響かもしれませんが、男女とも下回ってしまいました。

種目ごとのレーダーチャートでは、明らかに下回っている種目もありますが、特に走る競技で、20メートルシャトルランとかで顕著に下回っているものがあります。またABCDEの層で見ても、残念ながら男子はA層が0%、令和元年度も0%と、得意な層が少ない結果にあります。先ほどの小5との比較で、3年間の間に、運動する機会が少なくなっているかもしれません。部活の機会や少年団の機会はあると思いますが、中々運動の機会に恵まれてないのかもしれませんが。上位層が少ない反面、下位層が多く、男子はDE合わせて40%ほどですから、さきほどの小5女子よりも心配な状況にあります。ただ、母数が少ないので大きく左右されることがあります。女子も顕著で、A層が31.6%と多く、DE層も若干多めですが、中2女子は運動を得意としているのが特徴です。平成20年度から始まった調査で、弟子屈町の中学校男子は、実技はずっと低い傾向にあります。ただ、質問紙、意識の方は、良い傾向にあります。質問紙の結果では、残念ながら、最初の「運動やスポーツが好きか」は全国を下回っております。ただし、この数値は4段階のアンケート項目で「とても好き」という割合を取っていて、2番目の「やや好き」も含めた肯定的な回答は、男子は82%を超え、女子も54%を超えており、肯定的な2つ目までを含んだ回答の合計では全道・全国と同じような状況にあります。

同じように、「卒業後も、自主的に運動やスポーツのする時間を持ちたいか」という質問もこのグラフでは低いのですが、「ややそう思う」も含めると、男子は94.1%、女子も62.5%ということで、肯定的な考えは全国並みに持っているようです。

以下、「授業は楽しい」「目標を立てている」というのも、同様の傾向です。実技は、大変心配な結果になりましたが、質問紙での意識は全国・全道並みにありますが、中学校こそ学校の時間の中で運動をする機会を持つのが非常に難しいです。小学校のように20分休みはなく、放課後も部活動や色んな委員会活動に行き、中々運動する機会がないので、何とか中学校と相談して、運動す

る機会を学校の中で取り入れて欲しいと考えておりますが、コロナの関係で密になることがありますので、そういったところを捉えながら、今後対策・方策を練っていきたいと思います。

以下、7・8ページも同様の中学2年生の資料を蓄積しておりますので、後ほどご覧下さい。

最後の9ページは、11月の定例教育委員会の中で、全道市町村ごとの調査結果を報告書で上げて、公表することに同意して頂きましたが、その弟子屈町のページであります。レーダーチャートは男女とも見にくいのですが、道教委から示された様式に従って作っております。説明は特にありませんが、一つ、中学校で良い所として、「卒業後も自主的に運動する」という折れ線グラフが、男女とも改善傾向にありますので、この部分は今回の調査の中で目立った結果になっております。

以上です。

岩原教育長：ただ今、事務局から、説明がありました。何か質疑がありましたら、お願いします。

各委員：ありません。

岩原教育長：無いようですので、本件につきましては、よろしいでしょうか？

各委員：はい。

岩原教育長：それでは、報告第1号「全国体力・運動能力、運動習慣等調査の報告について」を、報告済みと致します。

岩原教育長：これで、本日予定していた議案等は、全て終了しましたが、他に協議しておきたい事項・連絡などが、ありましたら、お願いします。

岩原教育長：休憩します。

岩原教育長：再会します。

岩原教育長：最後に、次回以降の、教育委員会の日程につきまして、確認します。

来月の「第2回定例教育委員会」は、前回の会議で、2月22日、火曜日の予定ということで、ご案内しておりましたが、都合の方は、よろしいでしょうか？

各委員：はい。

岩原教育長：それでは、2月は、22日、午前10時からということでお願いします。

3月は、3日の木曜日に、教職員の人事異動に係る臨時教育委員会を予定しております。時間は、午後1時30分の予定です。

それから、定例委員会は、今のところ、23日、水曜日に予定しておりますが、来月、再度、確認したいと思います。

よろしいでしょうか？

各委員：はい。

岩原教育長：それでは、以上をもちまして、本日の会議「令和4年第1回定例教育委員会」を閉会いたします。

上記会議の次第は、書記の記載したものであるが、その内容は正確であることを証するため、ここに署名する。

弟子屈町教育委員会 教育長 岩原 勝行

弟子屈町教育委員会 委 員 金井 秀明